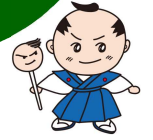


ある町の天気相談所

Vol.19
2019.7.5

令和元年7月号



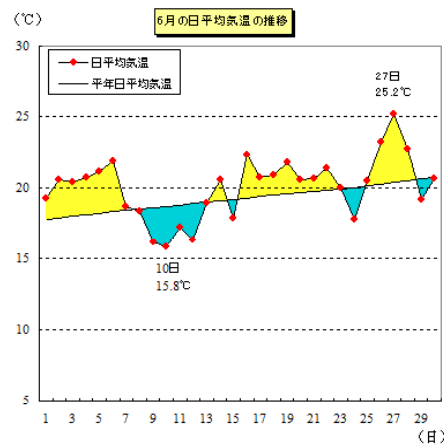
天気相談所の出前講座

日立市の気象の特徴や大雨などの気象災害、煙害対策と、天気相談所の歴史などを、職員が講師となってお話しする講座を行っています。地域の集まりや、社員研修、学校での授業などに、御活用ください。内容や時間など御相談に応じますので、まずは、お気軽に御連絡ください。



6月の気候

6月は、7日に梅雨入りの発表があったあと、曇りや雨の日が多くなりました。気温は、10日頃は平年より低くなりましたが、17日や27日などに高い日もあり、月平均気温は20度と平年並みの気温となりました。降水量は月合計228ミリと、平年の138%と多くなり、少雨の傾向がいったん落ち着きましたが、1月からの合計降水量は、548・5ミリと平年の82%にとどまっています。



1カ月予報 (気象庁発表)

7月前半は平年より雨や曇りの日が多く、後半は平年同様に晴れの日が多い予想です。気温ははじめ「低く」後半は「平年並み」、降水量は「平年並か多く」、日照時間は「平年並か少ない」見込みです。

天気相談所のあゆみ

天気相談所の1日 (概要)

天気相談所ではどのようなことを行っているのか、職員の1日の仕事の様子から御紹介していきます。現在、天気相談所には、4名の気象予報士がおり、3名は環境政策課と兼務、1名は非常勤の職員です。天気相談所の事務室は4階にありますが、こちらには、平日は二人、休日是一人が、仕事をしています。なお、平日の残り二人の予報士は、環境政策課の業務を行っています。

業務の時間は、基本的には市役所と同じで、朝の8時30分から、17時15分まで、土日、祝日など、市役所が休みの日は、朝の8時30分からお昼の12時30分まで、365日、交代で行っています。毎日決まった時間に行う業務として、9時・12時・15時の目視による観測、9時と16時(休日は12時)に発表している天気予報があります。平日は、予報担当と観測担当と役割を分担して行っていますが、休日は一人で行っています。次回からは、もう少し細かく御紹介していきます。

天気用語の基礎知識

雨の強さ②

1時間の雨量が50ミリから80ミリの雨は「非常に激しい雨」といいます。滝のようにゴーゴーと降り続き、傘は全く役に立たなくなり、マンホールから水が噴出したります。大雨警報(浸水害)が発表されるのはこの雨からです。80ミリ以上の雨は「猛烈な雨」となります。日立市でも猛烈な雨は観測したことがあります。回数は少ないです。災害の恐れが強く、厳重な警戒が必要です。

神峰の山から

7月19日に開催される気象講演会ですが、募集が600人の所、700人を超えるご応募がありました。(そのため、当日券はありません。また、厳正な抽選の結果、当選された方のみしか、入場することはできません)多くの申込、大変ありがとうございました。先日、南さんと打合せをしてきましたが、お忙しいところ時間をとってくださり、講演会の内容についても、御提案いただくなど、短いながら充実した内容となりました。当選された方は、ぜひお楽しみしていただければと思います。当日は天気相談所のことについても、少し紹介いたします。